

Music Program TOKYO
Workshop Workshop! コンビビアル・プロジェクト

**東京文化会館 リラックス・パフォーマンス
世代、障害をこえて楽しめるコンサート**

実施日 2023年(令和5年)11月26日(日曜日)

時間 14時から15時まで、休憩なし

会場 東京文化会館 大ホール

このプログラムは、読み上げ対応用の文字プログラムです。

主催:東京都／公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化
会館

特別協力:パイオニア株式会社

※本事業は、クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョーの一
環で実施しています。

東京文化会館リラックス・パフォーマンスへようこそ！

リラックス・パフォーマンスの「リラックス relaxed」は“寛容な”という意味。少し音をたてても、身体が動いても、大丈夫。発達障害や自閉症などでホールでの音楽鑑賞に不安がある方も、耳の聞こえない方や聞こえにくい方も、一緒に音楽を楽しめるように、様々な工夫をしています。たとえば…

1. 客席の照明を完全に暗くしません。
2. 手話通訳があります。
3. 上演中に休憩が必要になった場合は、客席の外に出て休憩できます。途中で席に戻ることもできます。
4. 席に戻りづらい場合や、一時的に席を移動したい場合等にお座りいただけるフリーエリアがあります。
5. 音を振動で伝える体感音響システムやヒアリンググループ、字幕タブレットの貸し出しがあります。
6. ホールの中では食べたり飲んだりできません。
7. 携帯電話やアラーム付き腕時計などは電源を切りましょう。
8. 公演の写真撮影、録音、録画はできません。

お客様へのお願い

1. 館内では咳エチケットや手指消毒・手洗いの励行を推奨します。
2. 館内でブラボー等の大声を出される場合はマスクを着用するなど、周囲のお客様へのご配慮をお願いします。
3. エントランス、ホワイエ、通路、トイレなどでは周囲の方との距離を空けるなど、密集回避を推奨します。
4. 音楽が気に入ったら、演奏が終わったときに大きな拍手をお願いします！

プログラム

1. ロンビ作曲

コペンハーゲン蒸気機関車のギャロップ

2. J.シュトラウス 2 世作曲

ポルカ「クラップフェンの森で」

3. スメタナ作曲

連作交響詩『わが祖国』より 第 2 曲 「モルダウ」

4. エルガー作曲

『子供の魔法の杖』組曲第 2 番より

第 3 曲 「蛾と蝶」

第 5 曲 「飼いならされた熊」

第 6 曲 「野生の熊たち」

5. ロッシーニ作曲

オペラ『セビリアの理髪師』より 嵐の音楽

6. アンダーソン作曲

そりすべり

7. チャイコフスキー作曲

バレエ『くるみ割り人形』より 「花のワルツ」

出演

指揮：つのだこうすけ(角田鋼亮)

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

ナビゲーター：ふるはし かりん(古橋果林)(東京文化会館
ワークショップ・リーダー)

ろうナビゲーター：

かわいゆみこ(河合祐三子)

ささまりー(Sasa/Marie)

曲目解説

1. ロンビ作曲

コペンハーゲン蒸気機関車のギャロップ

今から 180 年近くも前、ヨーロッパの北国デンマークに、首都コペンハーゲンから西へと伸びる鉄道が開通しました。そのお祝いに、デンマークの作曲家ロンビがこの曲を作りました。ギャロップとは弾むような舞曲のこと。ゆっくりと機関車が動き出し、元気に走る様子をオーケストラが伝えます。目的地到着までの音楽旅行を楽しみましょう。

2. J.シュトラウス 2 世作曲

ポルカ「クラップフェンの森で」

オーストリアの音楽の都ウィーンにはクラップフェンという小高い丘があり、緑豊かな森が広がっています。人々がのんびりと過ごす憩いの森の名を、ウィーンで人気の作曲家シュトラウス2世は、ポルカのタイトルに付けました。ポルカとは2拍子の舞曲のことです。カッコウや小鳥たちの朗らかな鳴き声も、音楽の一部となって聞こえてきます。

3. スメタナ作曲

連作交響詩『わが祖国』より 第 2 曲「モルダウ」

モルダウとは、作曲者のスメタナの故郷チェコを流れる長い川の名前です。現在ではこの曲名をチェコ語で「ヴルタヴァ」と呼ぶこともあります。源流の細い流れから、大きく広がる川の様子、森の情景や農民たちの婚礼の舞曲、月に照らされた静かな夜、そして激しい急流の場面などが、音楽によって鮮やかに描き出されます。

4. エルガー作曲

『子供の魔法の杖』組曲第 2 番より

第 3 曲「蛾と蝶」、第 5 曲「飼いならされた熊」、
第 6 曲「野生の熊たち」

子供時代のステキな思い出は、大人になってからも心に残るものです。イギリスの作曲家エルガーは7人の兄弟姉妹の4番目の子として育ちました。10 歳くらいの頃、子供たちで劇をやることになり、エルガーは音楽を担当しました。それから40年の時を経て、彼はその少年時代の音楽をベースに、魅力的なオーケストラ用組曲を仕上げました。今日はその第2組曲から3曲が演奏されます。

5. ロッシーニ作曲

オペラ『セビリアの理髪師』より 嵐の音楽

イタリアの作曲家ロッシーニは楽しいオペラをたくさん残した作曲家です。中でも有名な『セビリアの理髪師』は、ロジーナという美しい娘と、彼女に恋をした伯爵、伯爵を応援する理髪師のフィガロや、ロジーナの遺産目的で結婚を迫るバルトロといった登場人物がくり広げる愉快的なオペラです。第2幕でロジーナと伯爵の恋心がすれ違い、外は嵐となる場面で、この音楽が流れます。

6. アンダーソン作曲

そりすべり

降りしきる雪の中をソリが軽快に走る様子を表したこの曲は、アメリカの作曲家アンダーソンによって作曲されました。ワクワクするようなメロディとともに、馬をムチで駆り立てる音も響きます。終わりにはトランペットで馬のいななきも表現されたユニークなオーケストラ曲です。

7. チャイコフスキー作曲

バレエ『くるみ割り人形』より「花のワルツ」

『くるみ割り人形』は、ロシアの作曲家チャイコフスキーが作った『白鳥の湖』『眠れる森の美女』と並ぶ“3大バレエ音楽”の一つです。バレエの内容は、クリスマス・イヴの夜、少女クララと、彼女にプレゼントされたくるみ割り人形が、お菓子の国で妖精たちと楽しく過ごす物語。「花のワルツ」は、金平糖の精の従者たちが可憐に踊る華やかなシーンの音楽です。

(曲目解説終わり)

出演&プロフィール

指揮：つのだこうすけ(角田鋼亮)

東京藝術大学大学院指揮科ならびにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、札幌交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、九州交響楽団等と共演している。大阪フィルハーモニー交響楽団および仙台フィルハーモニー管弦楽団の指揮者のポジションを歴任。現在、セントラル愛知交響楽団常任指揮者を務めており、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拡げている。

2019年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」、2020年「名古屋市文化振興事業団第36回芸術創造賞」を受賞。

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

東京フィルハーモニー交響楽団は1911年(明治44年)創立、今年で112歳を迎えた「日本でいちばん古いオーケストラ」。約160人の音楽家が集まる「日本でいちばん大きなオーケストラ」でもある。有名なコンサートホールや歌劇場で交響曲や協奏曲、オペラやバレエを演奏するほか、『題名のない音楽会』などのテレビ番組、映画音楽やミュージカルのコンサートなどでも演奏し、1年間に約60万人のお客様がコンサートに来場する。いろいろな国の指揮者と共演し、外国でも演奏している。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と提携し、訪問コンサートや子どもたちのためのコンサートなど、さまざまな形で演奏を届けている。

ナビゲーター:ふるはし かりん(古橋果林)(東京文化会館
ワークショップ・リーダー)

音楽ワークショップ・リーダー。2017年「東京文化会館ワークショップ・リーダー育成プログラム」を受講、カーザ・ダ・ムジカ派遣研修に参加、2018年より東京文化会館ワークショップ・リーダーとして活動。乳幼児から大人まで幅広い層を対象にワークショップを実施するほか、特別支援学校や高齢者施設、子ども食堂でのワークショップ実施にも力を入れている。これまでにギルドホール音楽演劇学校卒業講師、ロンドン交響楽団レイチェル・リーチによるトレーニングを受講し、音楽ワークショップの実践を学ぶ。東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、同大学大学院国際芸術創造研究科修了。現在、大阪音楽大学ミュージック・コミュニケーション専攻助手。東京、大阪を中心に全国で活動中。

(出演者&プロフィール終わり)

TOKYO SOCIAL DESIGN with TAKUYA SASAKI

一人ひとりの力を活かしたソーシャルファームの中で協働している佐々木卓也さんと一緒にチラシ、ポスター、プログラムを製作しました。

東京文化会館の取り組み ～あらゆる人が音楽で交流できる社会をめざして

東京文化会館ではアートによる多元共生社会の実現に向けて、アートが持つ「創造性」「協調性」「参加性」を活かし、社会的課題に向き合いながら、人々の生活の質(QOL)の向上や共生社会実現につながる様々な取り組みを行っています。年齢や障害、社会的ハンディキャップのあるなしにかかわらず、あらゆる人々が音楽鑑賞や音楽創造体験に参加できる機会の提供や、多くの人々が新たな文化創造に主体的に関わることができる環境の整備に向けた取り組みを大切にしています。

Music Program TOKYO

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩な公演を実施する《Enjoy Concerts!》、海外の芸術機関や国内外の教育・社会福祉機関等と連携した《Workshop Workshop!》、そのほかの教育普及プログラムを《Music Education Program》として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信していきます。